

岡山県立倉敷まきび支援学校

外に向けての取り組み

岡山県立倉敷まきび支援学校

【箭田幼稚園児とのパンジーの定植】（3月）

高等部農園芸班の生徒が箭田幼稚園を訪れ、園児たちと一緒にプランターにパンジーの植え替えをしました。植え方を全体で確認した後、園児4～5名に高等部生徒1名がついて一緒に活動をしました。



ポットからパンジーを取り出す仕方や、プランターへの土の入れ方など、子どもたちに丁寧に伝えました。



一緒に植え替えたパンジーを見て、園児たちも、農園芸班の生徒たちも、満足そうでした。

岡山県立倉敷まきび支援学校

その他地域等の方から

岡山県立倉敷まきび支援学校

【お正月のしめ縄と門松】（12月）

箭田まちづくりの方が、12月末に、わらで作った大きなしめ縄とウラジロを持ってきてくださいました。早々、橙や昆布などの材料を集めてお飾りを作りました。また、ももぞの学園様からも手作りの門松を2ついただきました。それぞれ、玄関前や正門、肢体不自由部門の玄関にも飾り、お正月を迎えることができました。



～お知らせ～

「あいさつ」は、人と人をつなぐ大切なコミュニケーションです。倉敷まきび支援学校では「あいさつ」をととても大切にしています。登校時と下校時に、生徒会が中心となって『あいさつ運動』を行っています。

この活動の拡大と継続を願ってまきび連携委員会が児童生徒から「あいさつの絵」と「あいさつの標語」を募集し、その中からいくつかを選んで、「あいさつののぼり旗」を作りました。標語は次のとおりです。

『あいさつで みんなえがお ステキだな』

自分のできる方法で、自分からあいさつをしたり、人からあいさつをされたら、返すことができる子どもたちに育って欲しいと思っています。



<まきび連携委員会から>

地域との接点が、この『まきび学校支援地域本部』であり、その企画運営を行っているのが『まきび連携委員会』です。来年度、一部委員の入れ替わりがありますが、今後も、連携委員会がますます機能して、子どもたちの育ちを応援したり倉敷まきび支援学校が地域の一員として様々なことに取り組んだりしていきたいと思ひます。

今後とも、ご支援ご協力をよろしくお祈ひします。



中：長谷川委員長
左：小田副委員長
右：守屋総務班班長

